

目 次

はじめに	i
第 1 章 調査研究の概要	
1 調査研究の趣旨	1
2 調査研究方法等	1
3 調査主体・実施機関	2
4 「参加体験型学習に関する実態調査」の調査結果について	2
第 2 章 参加体験型学習の現代的意義と可能性	
1 参加体験型学習が求められる背景	3
2 参加体験型学習の可能性（その意義・特徴・課題）	7
第 3 章 参加体験型学習の現状と課題	
－「参加体験型学習に関する研究セミナー」を通して－	
第 1 節 「参加体験型学習に関する研究セミナー」の意義と実際	11
1 研究セミナーの意義	11
2 参加体験型学習の効果的な活用に係る社会教育指導者の資質・能力	13
3 研究セミナーのプログラムと実際	16
第 2 節 参加体験型学習を活用した学習プログラム	23
1 学習プログラムの在り方	23
2 学習プログラムの展開の工夫	27
第 3 節 参加体験型学習の効果的な活用のための着眼点	32
1 学習方法の「再分類」と「組み合わせの妙」	32
2 参加体験型学習を実施することにより「期待される効果」	33
3 参加体験型学習の実際を構成する基本枠組み	34
4 参加体験型学習の機会を効果的に提供するためのポイント	35
5 学習者心理に注目した実践的ポイント	36
第 4 節 参加体験型学習の効果的な活用の実例	38
1 指導者養成に関わる事例 1	38
2 指導者養成に関わる事例 2	43
3 住民参画に関わる事例	47
4 学校と地域の連携に関わる事例	51
5 人権教育に関わる事例	55
第 4 章 参加体験型学習の研究セミナーの評価	
第 1 節 受講者アンケートの分析を通して	61
1 第 1 回セミナー受講者のアンケート結果	61
2 第 2 回セミナー受講者のアンケート結果	67

3	セミナーのインパクト	68
第2節	研究セミナーの参加者のふり返り	69
1	実践事例発表者	69
2	受講者	71